

## 令和2年度 学校評価アンケート集計結果について

### 1. 実施

- (1) 対象者 教員(常勤者)、全校生徒及びその保護者
- (2) 期間 生徒 12月2日(水)～12月7日(月)  
保護者 12月9日(水)～12月14日(月)  
教員 12月2日(水)～12月14日(月)

### (3) 方法

- ・さくら連絡網(生徒・保護者)、classi(教員)のアンケート機能を用いて実施。さくら連絡網は設問数が20までという制約があるため、教員はclassiを利用。集計は匿名で行った。
- ・各項目を次の段階で評価する。  
A：よく当てはまる B：どちらかと言えば当てはまる  
C：どちらかと言えば当てはまらない D：まったく当てはまらない  
E：わからない(判断できない)  
教員及び生徒はA・B・C・Dの4段階、保護者はA・B・C・Dの4段階の他、Eを加えての評価を実施した。
- ・改善に向けての提言という観点から、自由記述を求める設問も設けた。

### (4) 回答数

- ・今年度 教職員 29 (57%)、生徒 447 (60%)、保護者 620 (83%)
  - ・前年度 教職員 56 (100%)、生徒 752 (94%)、保護者 726 (91%)
- ※集約方法が、昨年度までのマークシートに直接記入して回収するやり方から大きく変化したため、回答率が低くなったと思われる。匿名で集約し、学校では誰の回答か把握できないが、回答者に不安があったのかもしれない。生徒用に、保護者が回答したと思われるケースもあった。

### 2. 考察

評価のひとつの観点として、肯定的評価(A+B)の割合をみる。また前年度との比較のために、Aを100点、Bを70点、Cを40点、Dを10点と点数化して各項目の平均を求める。

#### (1) 教員について

A+Bの割合で見ると、教職員は25項目中、22項目で80%を超え、うち12項目が90%を超える。全体的に教職員からは高い評価を受けていると言えるが、80%を切るものとして、「17 体験学習・ボランティア」「21 施設設備」「22 環境美化」の3項目がある。昨年と比べ「17」はダウン、「21」は微減、「22」はアップとなった。「21」は4割に満たず、最も低い数字である。昨年度70%を下回った「4 校務分掌のバランス」は大きくアップし80%を上回る結果となった一方、50%を下回っていた「21 施設設備」はさらに大きく下がり、30%台と低迷している。

前年比でプラスになった項目は17、マイナスになった項目は8である。特にプラスで目立つのは、「23 職業倫理」の+8.3、そして、「19 防災体制・安全意識」の+6.7、「3 ニーズに合った教育活動」の+6.6である。逆にマイナスでは、「25 家庭・地域との連携」の-6.4、「17」の-4.2、「7 教育課程の適正運用」の-2.8、「1 教職員の意見反映」の-2.4、以下、「21 施設設備」、「5 分掌・学年間連携」及び「15 学校行事・生徒会行事」と続く。

「21」の学習環境に関する項目は、今年の猛暑と設備の不足の問題が大きく関わっていると思われる。昨年の下落からはやや下げ止まっているものの、A評価はゼロであった。「25」は都市部の高校が共通して抱えている課題であるが、今後取り組んでいかなければならない分野である。「17」のボランティア活動は、取り組まれてはいるものの、まだ限定的ということか。「1」「5」といった組織としての取り組み、「7」「8」といった本校の指導の中身についての評価が下落したことについては、検証・考察・改善が必要ではないかと考えられる。

最低点となったのは昨年度同様に「21 施設設備」の50.4点である。教室の冷暖房やICT機器に関すること、校舎そのものの老朽化に対する改善等の要望があるものと考えられる。

自由記述には、校務分掌の再編、情報の共有、観点別評価や課題探究への取り組み、ICT機器の活用、課題の出し方などに関する記載があった。

## (2) 生徒について

生徒は13項目中、「1 入学して良かった」「2 学校の雰囲気良好」「4 自主的・自律的活動」「5 学校行事は充実」「6 先生の熱意」「7 親身になって相談」「10 授業の水準」の7項目でA+Bの割合が90%を超える。残り4項目が80%台、2項目がそれ以下であり、大部分の生徒は学校生活に満足している様子が窺える。ただし、「8 施設設備」についてのA+Bの割合は50%を下回っており、昨年度から大幅に下がっている。

昨年比では「4 自主的・自律的活動」が+7.1と大きく数値を上げた一方、「8 施設設備」が-8.8、「13 ブログ等の発信」が-3.6、「3 文武両道の実践」と「11 進路指導の満足」が-2.5、「12 進路情報の提供」が-2.1とダウンしているのが気付きである。

自由記述には、空調設備や暖房器具の設置・整備、部活動の場所や設備、部活動の休養日、授業の内容・やり方、課題の負担、進路指導、教員に関することなどの記載があった。

## (3) 保護者について

保護者は18項目中A+Bの割合で見ると、「1 入学させて良かった」が97%を超え、この数字が表すように、保護者にとって満足度の高い学校である。他に3項目（「2 教育方針の理解」「12 生徒会活動・部活動の充実」「17 保護者・地域からの信頼」）が90%を超えている。残り14項目のうち7項目が80%を超えており、全体的には高い評価が得られている。

「7 三年間の進路指導」「8 進路情報提供」「18PTA活動のあり方」が70%程度の数字であるが、60%台が2項目、40%台も2項目ある。否定的評価C+Dが40%を超える「14 施設・設備」については、保護者の評価は良くない。前年比では、今年度の特殊性もあると思われるが、軒並み数値が下落しており、10ポイント以上のダウンも「13 体験学習・ボランティア」「11 学校行事・生徒会行事」「14 施設・設備」「18PTA活動のあり方」と4項目ある。

前年比の下落や、Eの分からないという回答の大幅増加は、今年のコロナ禍という特殊事情がかなり影響していると思われる。

自由記述には、指導に対する感謝、部活動の顧問の配置、文武両道のあり方、空調設備や暖房器具の設置・整備、部活動の場所や設備、部活動の休養日、授業の内容・やり方、コロナ対策、コロナ禍における行事、探究学習の取り組み、進路指導、情報の発信、教員に関すること、アンケートの回答のための判断材料の少なさなどに関する記載があった。